

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-122420

(43) 公開日 平成4年(1992)11月4日

(51) Int.Cl.⁵

B 2 3 H 7/02

識別記号

庁内整理番号

G 8813-3C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平3-24114

(22) 出願日 平成3年(1991)4月12日

(71) 出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(72) 考案者 武岡 明

名古屋市瑞穂区苗代町15番1号ブラザー工業株式会社内

(72) 考案者 中世古 浩司

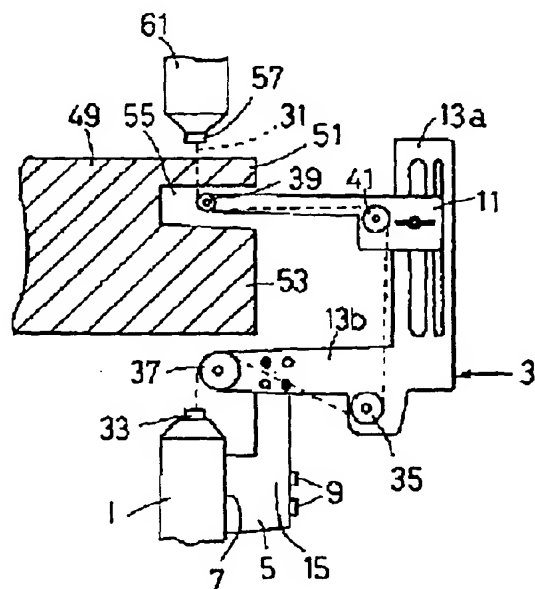
名古屋市瑞穂区苗代町15番1号ブラザー工業株式会社内

(54) 【考案の名称】 ワイヤガイド装置

(57) 【要約】

【目的】 1つの被加工物の上部と下部を、別のワイヤガイド装置を取り替えることなく、それぞれ異なった形状に加工すること。

【構成】 2つのガイドブリーが設けられた第2ワイヤ案内体をワイヤカット放電加工機に取り外し可能に固定し、その第2ワイヤ案内体に対して、2つのガイドブリーが設けられた第1ワイヤ案内体を上下に移動可能に設けることにより、ワイヤカット放電加工機のワイヤの繰り出し部と繰り込み部との間のワイヤを側方へ略コの字形に変位させる。そして、被加工物の形状に応じて、第1ワイヤ案内体の位置を調整する。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ワイヤ供給源から導出したワイヤと被加工物との間に所定の電圧を印加して被加工物を加工するワイヤ放電加工機に用いるワイヤガイド装置において、前記被加工物を挟む位置に配置された前記ワイヤの繰り出し部と繰り込み部との間の前記ワイヤに係合し、ワイヤの移動経路を側方に変位させる第1ワイヤ案内体と、その第1ワイヤ案内体を移動可能に保持し、その第1ワイヤ案内体により変位したワイヤを前記繰り出し部もしくは前記繰り込み部に案内する第2ワイヤ案内体とを備えたことを特徴とするワイヤガイド装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案のワイヤガイド装置を用いて被加工物を

加工している状態の側面図である。

【図2】 本考案のワイヤガイド装置の斜視図である。

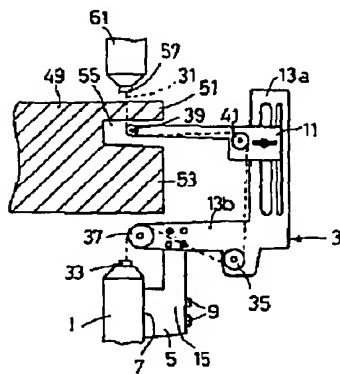
【図3】 第1ワイヤ案内体と第2ワイヤ案内体の係止部の分解斜視図である。

【図4】 被加工物の斜視図である。

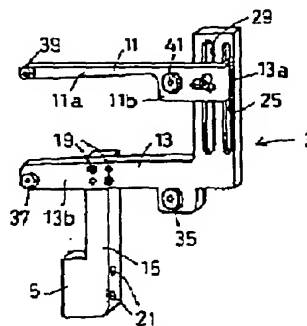
【符号の説明】

- 3 ワイヤガイド装置
- 11 第1ワイヤ案内体
- 13 第2ワイヤ案内体
- 31 ワイヤ
- 33 繰り込み部
- 49 被加工物
- 57 繰り出し部

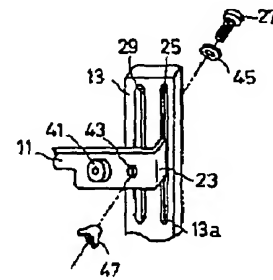
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

